

地域に溶け込むデイケアサービス



計画敷地



岡山県玉野市田井 2-26
備前田井駅徒歩 2 分
敷地面積 560 m²

玉野市田井 2 丁目は山と線路に囲まれており、他の地区と断絶されている。全体的に古民家が多く、新築は少ないが、二世帯や三世帯でこの地区に住んでいる家族が多い。新築には、他県から引っ越してきた若い家族が移り住んでおり、近隣にある小学校がきっかけとなり若者同士の繋がりがあがる。

生活活動時間について

●人間の生活活動時間

1日の生活行動は「1次活動」「2次活動」「3次活動」の3つに分類することができる。



1次活動：生きるために必要な活動。
2次活動：社会生活を送るうえで日常的に行わなければならない義務的な活動。
3次活動：1次活動、2次活動以外で自由に使える時間に行う活動。



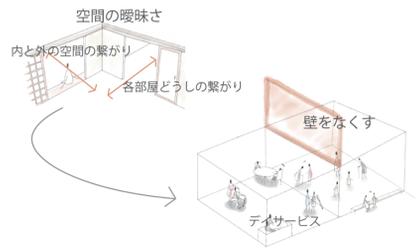
年齢を重ねるごとに1次活動と3次活動の増加と2次活動の減少がわかる。1次活動が増加することで、身の回りの動きに1つ1つ時間がかかりストレスを抱えてしまっている。

コンセプト・ダイアグラム

ーデイサービスに楽しみをー

活動時間が変化したことにより生じるストレスをどう改善していくかが大切になってくる。つまり、【高齢者ライフをどう楽しむか】が大切になってくるのである。

また、介護してもらうことに抵抗を感じる高齢者の方にとって、介護福祉施設は苦手意識を持ってしまいがちが多い。施設を利用する人・しない人関係なくその空間に集まり日常生活に楽しみを持ってもらえる高齢者施設を提案。古民家は襖や障子を使い、空間の仕切りを曖昧にするその【空間の曖昧さ】をテーマにデイサービスと古民家の空間を区切らない。壁を作らないことにより、目的が違う人々同士が交わる。



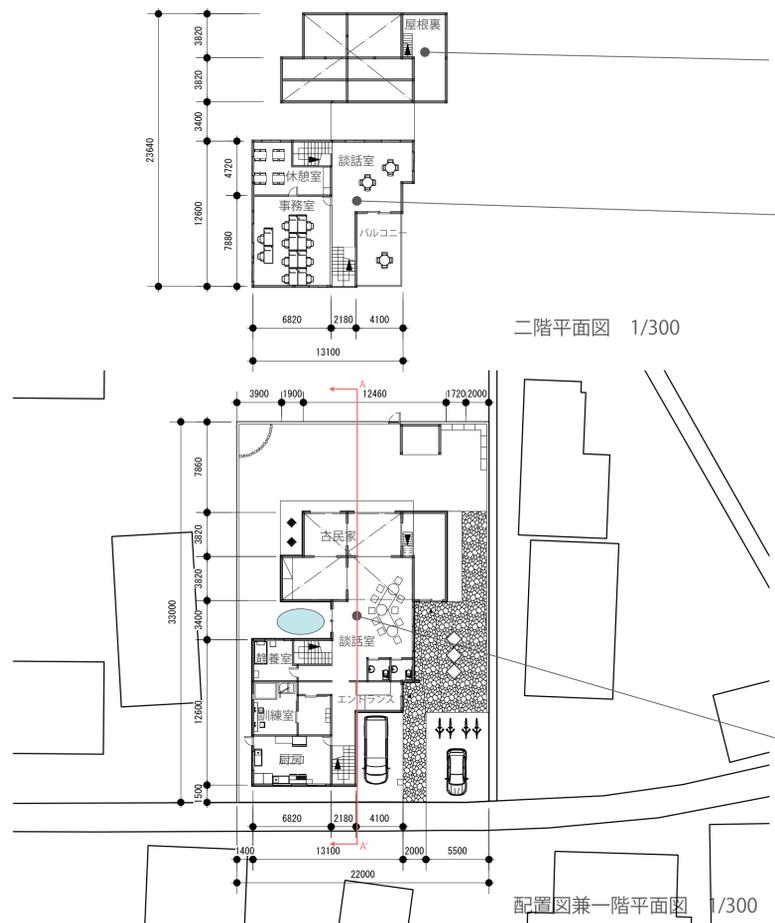
一年代を超えて助けあうー

玉野市田井2丁目は64件の10代～90代の幅広い世代の人々が共存している地区である。そんな幅広い年齢層の人たちが互いに教えあい・学びあい・助けあうために、町内会だけでなく日常的に繋がりがあうきっかけとして古民家をリノベーションし、話し合いの場として提供する。

併合しているデイサービスの気分転換に、高齢者の盛り場となっている病院の帰りに地域に点々とある田畑への学びや買い物に、友人や家族同士、世代の違う人達との出会い・交流の場に



平面図 1/300



●屋根裏からの景色

この古民家には天井裏階段が存在し、そこを上ると屋根裏へと繋がっていく。古民家の天井は吹き抜けのため上から古民家を見下ろすことができる。

●階段を上った先

機能訓練の中には歩行訓練というものがあるが、苦手意識を持つ人も多い。階段の上り下りも例外ではなく、訓練を嫌う傾向にある。そのため、2階が上がった先にも小さな楽しみを持ってもらうため、室内で談話スペースを設けたり、ベランダに出て景色を見ながら休憩することができる。



▲ベランダで談話

●内での出会い

古民家で出会った人々と気軽にレクリエーションを行ったり、世代が違う人々と繋がれる。古民家に来た人も、介護の方法を学びつつ高齢者の方と仲良くなれる。



▲デイサービスと古民家の繋が

●内と外での出会い

エントランスを抜け談話室に入ると、メインの談話室のほか古民家まで通り抜けることができる。窓越しや縁側の方を見ると、外から来た人達とアイコンタクトがとれる。



▲一直線に見える空間の繋が

A-A' 断面図 1/200

